

男子第34回、女子第26回島根県柔道選手権大会は6日、松江市の県立武道館であり、男子の南波利治（島根県警）

が12年連続13度目の優勝、女子の浜岡睦月（松江一中教）が8年連続8度目の栄冠を手にした。

無差別のトーナメント戦で

## 島根県柔道 選手権

行われ、南波、浜岡はともに、初戦からオール一本勝ちの貫禄を見せ、連続優勝記録の更新に花を添えた。

男子の上位4選手、女子の上位3選手が、全日本選手権大会中国地区予選会（3月6日・広島市）の出場権を獲得した。

「いつも通りの試合ができた」。8連覇を飾った浜岡睦月は、表情を変えずに振り返った。

浜岡は体の力が強く、多彩な技を繰り出す。昨年はオール一本勝ちでの圧勝。唯一の不安材料は練習不足だった。「（勤務先の）中学校では生徒の技を受けるだけで、十分な稽古ができていない」と口にした。

## 稽古不足も オール一本

その不安は杞憂（きゆう）だった。初戦から奥襟を取らせない組み手に徹した。得意の腰技を狙い、準決勝までの3試合を一本勝ち。決勝でも有利な組み手から内股、移り腰を繰り出し、最後は払い腰で一本勝ち。今年もオール一本勝ちで頂点に立った。

中国地区は女子のレベルが高い。その壁に、島根女子は跳ね返されている。浜岡は「島根の女子でもやれるというところを見せた」と意気込んだ。



払い腰で一本を取り、8連覇を決めた浜岡睦月（下）＝島根県立武道館

# 浜岡8

# 連覇記録更新